



◀大道芸や歌謡ショーで秋を満喫

街路樹のいちょうも鮮やかに色づいた11月13日、笠岡商店街と県庁通り一円で「いちょう祭りかさおか2005」が盛大に開かれ、子どもふろしき市や特産品のフリーマーケットなどでにぎわいました。

お馴染みの大道芸や保育園児の鼓笛隊には、多くの観客から大きな拍手が送られ、笠岡市出身の希元奈央さんの歌謡ショーでは、広い干拓地に笠岡の未来を思い描いた新曲「翔べ翔べ 夢ふぁーむ」が初めて披露されました。

また、各商店街でも趣向を凝らしたお値打ちイベントが繰り広げられ、食欲の秋・味覚の秋を存分に楽しんでいました。



▶スポーツの祭典に燃える

11月12日に市民体育センターで「第4回かさおか障害者スポーツ大会」が開かれ、障害をもつ人たちが一同に集い、レクリエーションスポーツに心地良い汗を流しました。全国障害者スポーツ大会の閉幕直後とあって、参加した選手は皆意気込みも熱く、ボランティアスタッフの助けが必要な人も、ハンディを感じさせない気合い充分のプレーで、会場は熱気にあふれていました。



◀一流アーティストの技に熱い視線

11月12日、保健センターギャラクシーホールで、フランスからファブリス・モレティーさんを講師に迎え、サクソフォンの公開レッスンが行われました。

これは、今年度新設された市民参画推進事業のひとつとして、市民グループ「つくし会」が企画したものです。世界的にも著名な一流のプロから指導を受けられるチャンスとあって、吹奏楽を楽しんでいる中・高校生などが多数参加し、真剣な眼差しで指導を受けていました。



▶みんなの森を大切にしよう！

11月11日、吉田小学校の五・六年生の児童が、妙見山内の「吉田の森」で、どんぐりの苗木を植樹しました。これは、森林の果たす役割や重要性を理解してもらおうと、毎年行われているもの。子どもたちは、自分たちが大事に育ててきたどんぐりの苗木を、散策路の脇に一本一本植えていきましました。最後に、どんぐりが大きく育つことを願って、記念の標柱を立てました。

